

小三 国語  
一学期 五月

こまを楽しむ

安藤 正樹





# こま

こまを回して遊ぶことは

むかしから世界中で

行われてきた

日本は世界でいちばん

こまのしゆるいが多い国だと  
いわれている



# こま

こまを回して遊ぶことは

むかしから

行われてきた

日本は世界でいちばん

こまの

いわれている

が多い国だと

回っているときの色を楽しむこま

ひねって回すと

① 色がまざり合う

② 元の色とちがう色にかわる

↓とくちよう



色がわりごま  
(いろがわり)



色がわりごま  
(いろがわり)

↓とくちよう

- ① 色が  合う
- ② 元の色と  色にかわる

ひねって回すと

回っているときの  を楽しむこま



うなりごまともよばれる

回っているときの音を楽しむこま

こまのどう↓大きい

こまの中↓くうどう

① ひもを引っばって回す

② ボーツと音が鳴る

鳴りごま  
(なりごま)

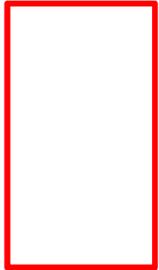


うなりごまともよばれる

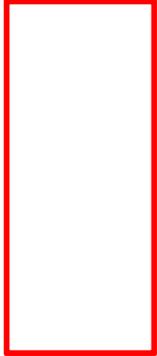
鳴りごま  
(なりごま)

回っているときの  を楽しむこま

こまのどう↓



こまの中↓



① ひもを引っぱって回す

②  と音が鳴る

とちゅうから回り方がかわり

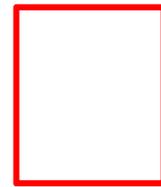
その動きを楽しむこま



さか立ちごま  
(さかだちごま)

とちゅうから回り方がかわり

その



を楽しむこま

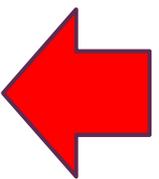


さか立ちごま  
(さかだちごま)

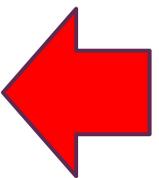
心ぼうをつまんで回す



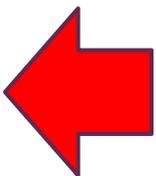
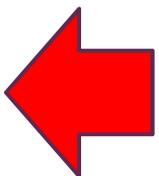
はじめはふつうに回る



だんだんかたむいていく



さかさまに  
起き上がって回る



起き上が  
つて回る  
に

だんだん

ていく

はじめはふつうに回る

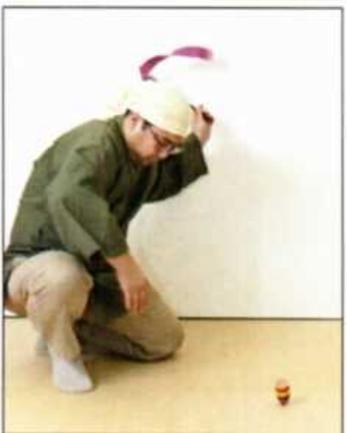
心ぼうをつまんで回す

たたいてまわしつづけることを  
楽しむこま

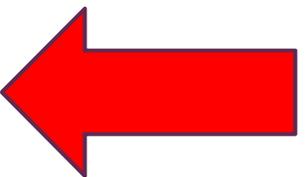


たたきごま

手やひもを使って回す



むちでたたいて  
回転をくわえる



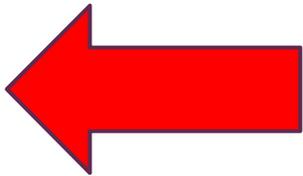
止まらないように



上手にたたいて  
力をつたえる



上手にたたいて  
□をつたえる

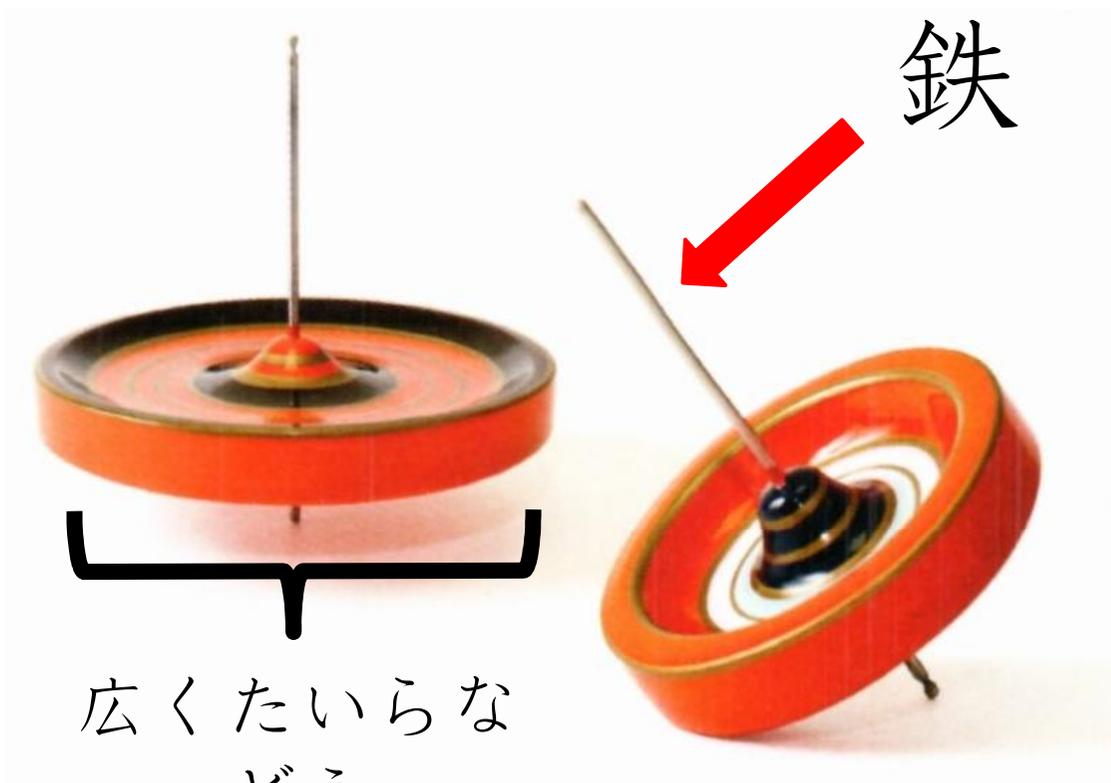


止まらないように



むちでたたいて  
□をくわえる

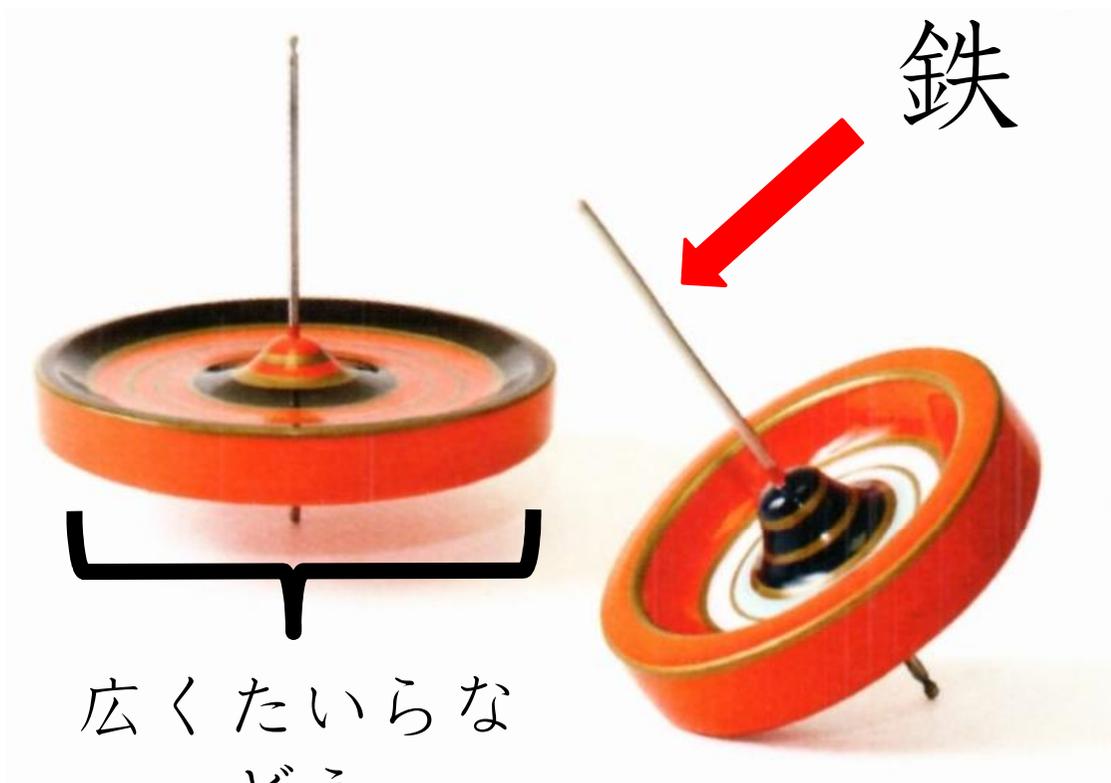
手やひもを使って回す



広くたいらな  
どう

曲ごま  
(きょくごま)

おどろくような所で回して  
見る人を楽しませるこま



広くたいらな  
どう

曲ごま  
(きよくごま)

おどろくような所で回して  
[ ] を楽しませるこま

台の上で手を使って回す



細い糸の上



ぼうの先

回しにくい所へうつしかえて  
回しつづける

台の上で手を使って回す



細い糸の上



ぼうの先

回しつづける

所へうつしかえて



心ぼうの先が太く、  
丸い

ずぐり

雪の上で回して楽しむこま



心ぼうの先が太く、  
丸い

ずぐり



の上で回して楽しむこま

# 遊びかた



① 雪に小さなくぼみを作る

② わらでできたなわを使って

③ くぼみになわを入れて回す

雪がふっても

こまを回したいという人々の思いから  
すぐりは長く親しまれてきた

遊びかた



① 雪に小さな  
を作る

②  でできた  
なわを使って

③ くぼみになわ  
を入れて回す

雪がふっても

という人々の思いから  
すぐりは長く親しまれてきた

# まとめ

① にほんには、さまざまなしゅるいのこまがあります。

② 色も形もちがう

③ じくを中心にバランスをとりながらまわるといいうつくりは同じ

人々は、  
つくりにくふうをくわえ、  
回る様子や回し方で  
さまざまに楽しみ方の  
できるこまを生み出してきた。

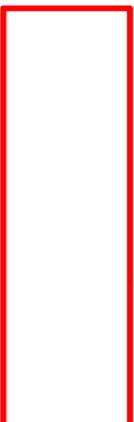
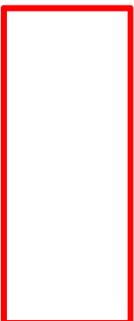


まとめ



①にほんには、

のこまがあります。



②

も

もちがう



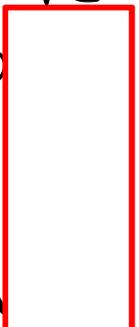
③

を中心

を

とりながらまわるとい

つくりは同じ

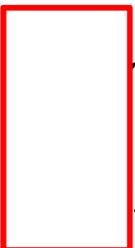


人々は、

つくりにくふうをくわえ、



や



で

さまざまに楽しみ方の

できるこまを生み出してきた。

